

DPC=150070

異動係数

Table with 5 columns: 異動係数, 異動係数, 異動係数, 異動係数, 異動係数. Rows include 検査済患者数 and 検出済患者数.

薬剤

Table with 5 columns: 薬剤名, 薬剤名, 薬剤名, 薬剤名, 薬剤名. Rows include 抗がん剤 and 抗生物質.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

DPC=150070

DPC=160160

異動係数

Table with 5 columns: 異動係数, 異動係数, 異動係数, 異動係数, 異動係数. Rows include 検査済患者数 and 検出済患者数.

薬剤

Table with 5 columns: 薬剤名, 薬剤名, 薬剤名, 薬剤名, 薬剤名. Rows include 抗がん剤 and 抗生物質.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

科

Table with 5 columns: 科名, 科名, 科名, 科名, 科名. Rows include 内科 and 外科.

DPC=160160

Table with 5 columns: 薬剤名, 薬剤名, 薬剤名, 薬剤名, 薬剤名. Rows include 抗がん剤 and 抗生物質.

薬物療法  
該当なし

薬剤コード	剤名	単位	人数	件数	投与回数	重複投与件数	重複投与率
04010243	アムピシリン注射用100mg/100ml	2,283	42	121	1	1	0.831
04010302	フルニジン注射用1g	1,813	73	253	3	3	3.413
04010317	ベンチリン注射用500mg	1,058	21	109	5	5	4.340
040408149	パルス剤用注射用100mg/100ml	1,663	26	76	2	2	3.205
04041023	ホスミンシロップ200mg/5ml	1,509	21	42	2	2	3.018
040409123	ユナシンS錠100mg	1,358	40	81	2	2	2.616
04041037	セファランチン錠100mg	1,023	81	236	4	4	2.041
02000200	1%プロピオフェール注射用500mg/50ml	2,028	55	55	1	1	2.028
04041001	アムピシリン錠250mg	1,381	24	124	1	1	1.741
04041013	ベンチリン注射用1g	538	10	16	3	3	1.601
04041044	セファランチン錠1g	534	82	247	3	3	1.602
04041039	アムピシリン錠500mg	1,555	205	207	1	1	1.328
04041011	糖注用ホスミンS 1g	675	12	34	2	2	1.350
04041005	アムピシリン100mg/100ml	1,315	14	14	1	1	1.315
02000193	1%プロピオフェール注射用200mg/20ml	1,293	85	85	1	1	1.293
04041019	ピレタール注射用1g	404	40	130	1	1	1.211
041110022	シタチール錠100mg	1,209	19	19	1	1	1.209
04041003	アムピシリン錠500mg	1,187	36	37	1	1	1.187
04120042	マスキラックス錠100mg	1,079	121	121	1	1	1.079

薬剤コード	剤名	単位	人数	件数	投与回数	重複投与件数	重複投与率
73010000	人工透析用透析液	155,000	45	49	1	1	155,000
73010000	人工透析用透析液	139,000	46	46	1	1	139,000
73010000	透析用内子(スクリー)	69,400	45	47	1	1	69,400
73010000	透析用内子(スクリー)	50,000	25	27	1	1	50,000
73010000	透析用内子(スクリー)	24,300	64	64	1	1	24,300
73020000	透析用内子(スクリー)	20,400	42	42	1	1	20,400
73030000	透析用内子(スクリー)	10,100	68	62	1	1	10,100
73030000	吸引用チューブ(吸引用)	7,450	77	77	1	1	7,450
73040000	吸引用チューブ(吸引用)	4,540	43	43	1	1	4,540
73010000	透析用内子(スクリー)	1,350	12	12	1	1	1,350
73040000	吸引用チューブ(吸引用)	1,750	34	34	1	1	1,750
73020000	吸引用チューブ(吸引用)	1,720	33	33	1	1	1,720

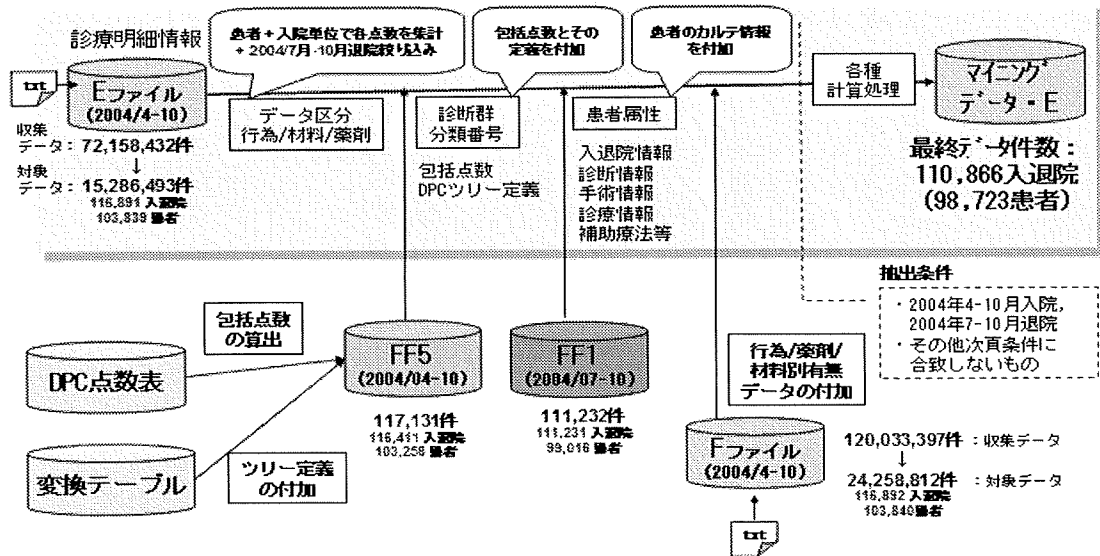
薬剤コード	剤名	単位	人数	件数	投与回数	重複投与件数	重複投与率
15004910	除菌剤(手洗い)	18,200	216	204	1	1	18,200
15004910	除菌剤(手洗い)	17,600	13	13	1	1	17,600
15003330	除菌剤(手洗い)	10,800	31	31	1	1	10,800
15003330	除菌剤(手洗い)	10,300	11	11	1	1	10,300
15021910	手洗い除菌剤	10,000	27	27	1	1	10,000
15023010	手洗い除菌剤	9,100	30	30	1	1	9,100
150042910	手洗い除菌剤	9,100	152	152	1	1	9,100
150232410	手洗い除菌剤	6,100	355	355	1	1	6,100
15020210	除菌剤(手洗い)	4,160	12	12	1	1	4,160
15002010	除菌剤(手洗い)	4,180	50	51	1	1	4,180
180022110	消毒薬(手洗い)	250	181	181	8	8	2,000
180020110	消毒薬(手洗い)	250	34	210	6	6	1,925
113004110	手洗い消毒剤	1,310	10	10	1	1	1,310
180022110	消毒薬(手洗い)	180	175	132	7	7	1,260
140040110	消毒薬(手洗い)	1,200	11	12	1	1	1,200
140040250	消毒薬(手洗い)	1,200	25	25	1	1	1,200
170022110	消毒薬(手洗い)	1,160	87	89	1	1	1,160
160020110	消毒薬(手洗い)	880	13	13	1	1	880
160121530	消毒薬(手洗い)	880	37	38	1	1	880
15023310	消毒薬(手洗い)	850	146	146	1	1	850
140005310	消毒薬(手洗い)	800	13	14	1	1	800
150232710	消毒薬(手洗い)	800	43	43	1	1	800
140004610	消毒薬(手洗い)	780	11	12	1	1	780
160022110	消毒薬(手洗い)	600	14	14	1	1	600
180022310	消毒薬(手洗い)	100	10	66	6	6	600
150232110	消毒薬(手洗い)	500	232	232	1	1	500
170019110	消毒薬(手洗い)	570	76	83	1	1	570
170022490	消毒薬(手洗い)	560	30	35	1	1	560

## 2. データ加工仕様

- 2-1. データ加工の流れ
- 2-2. データ加工処理一覧
- 2-3. データ加工処理詳細
- 2-4. コード一覧
  - 2-4-1. コード一覧
  - 2-4-2. 処置一覧

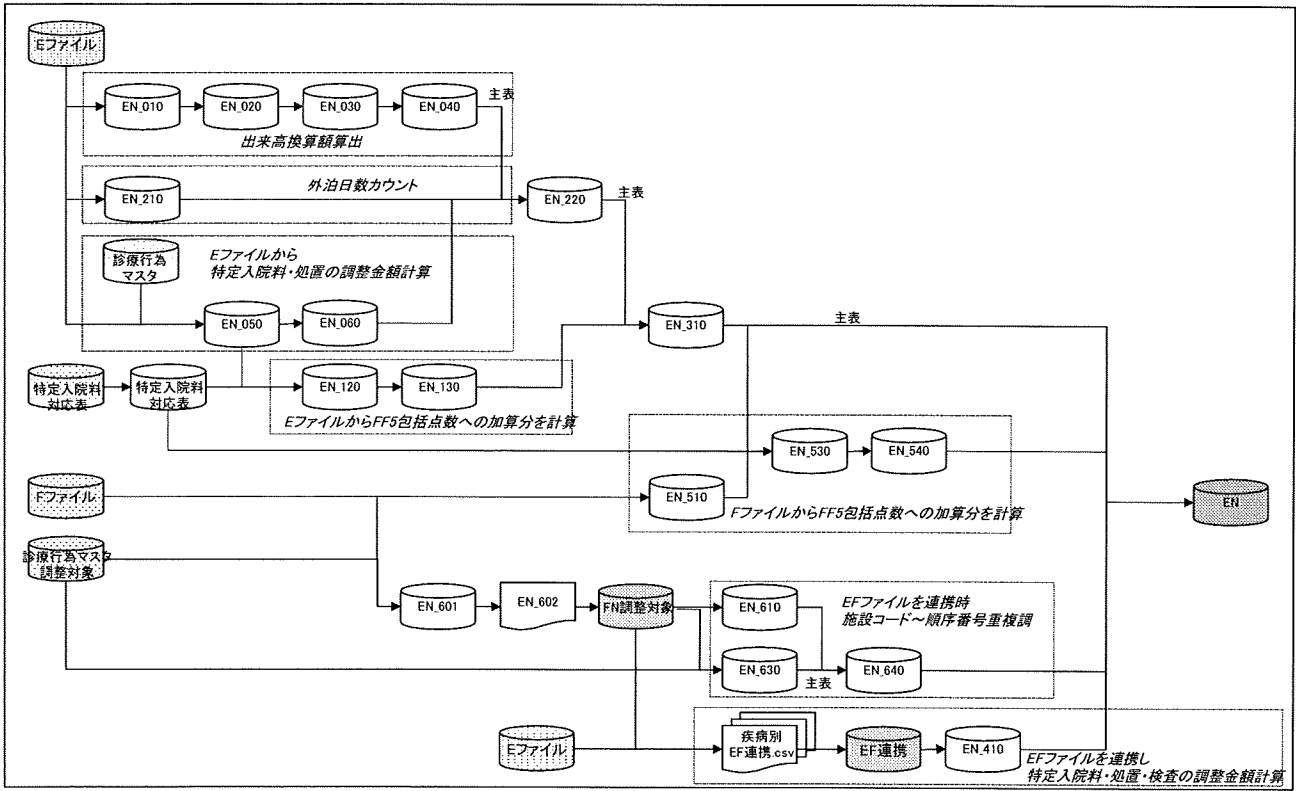
## 2-1. データ加工の流れ

データ加工全体の流れになります

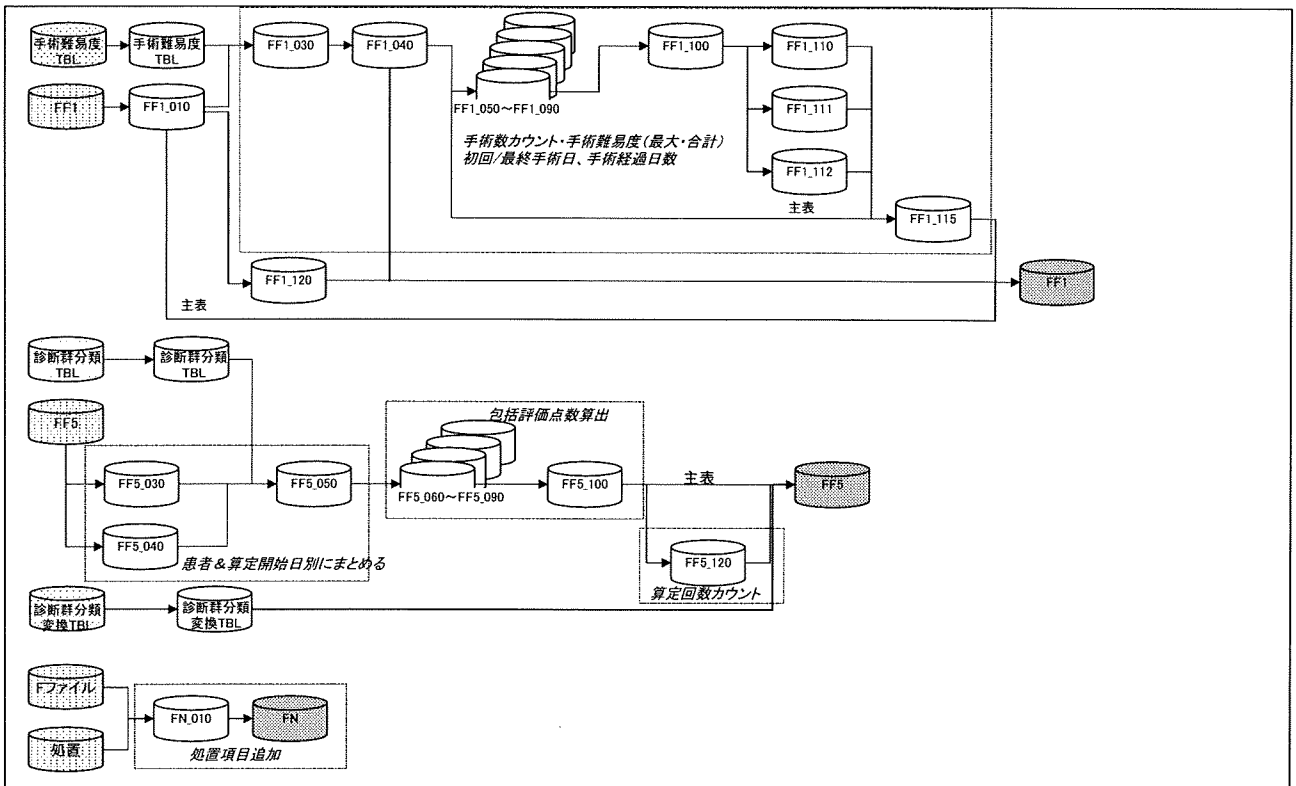




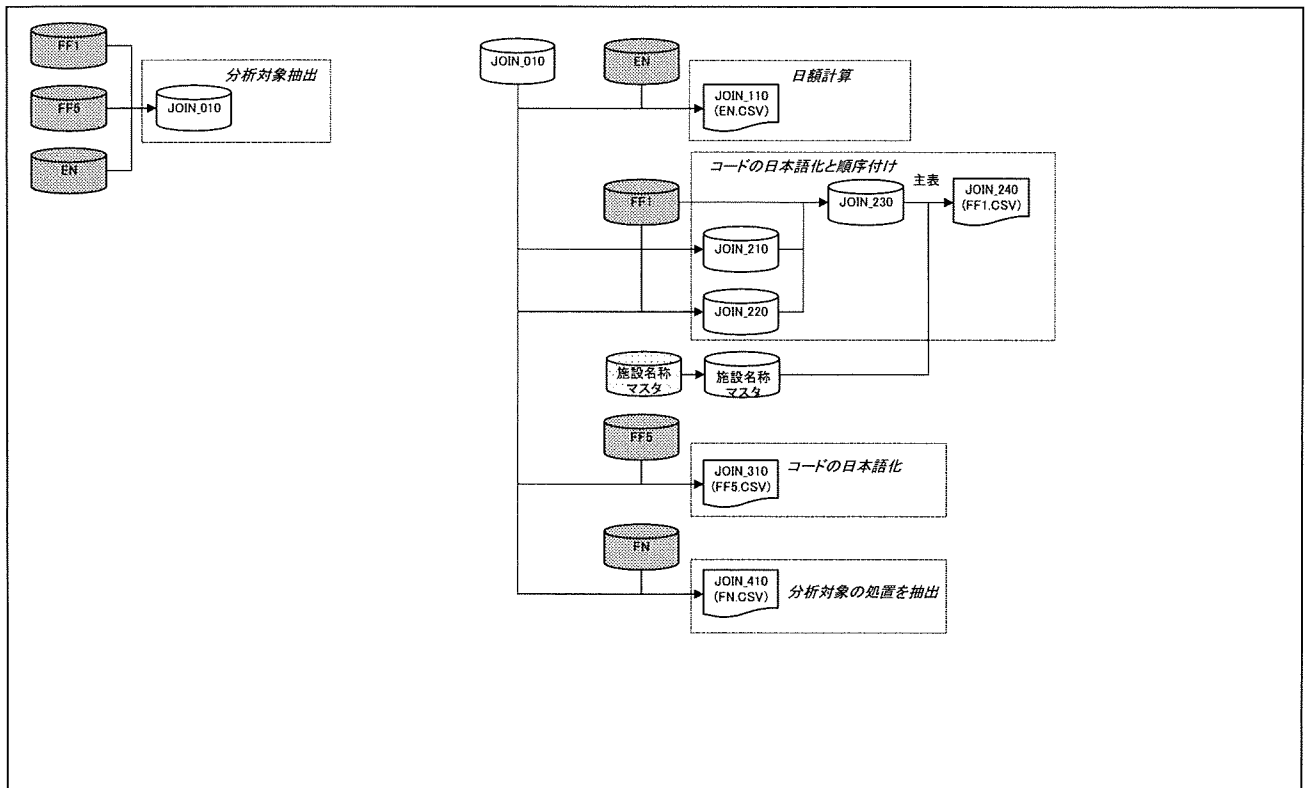
加工フロー(1/3)



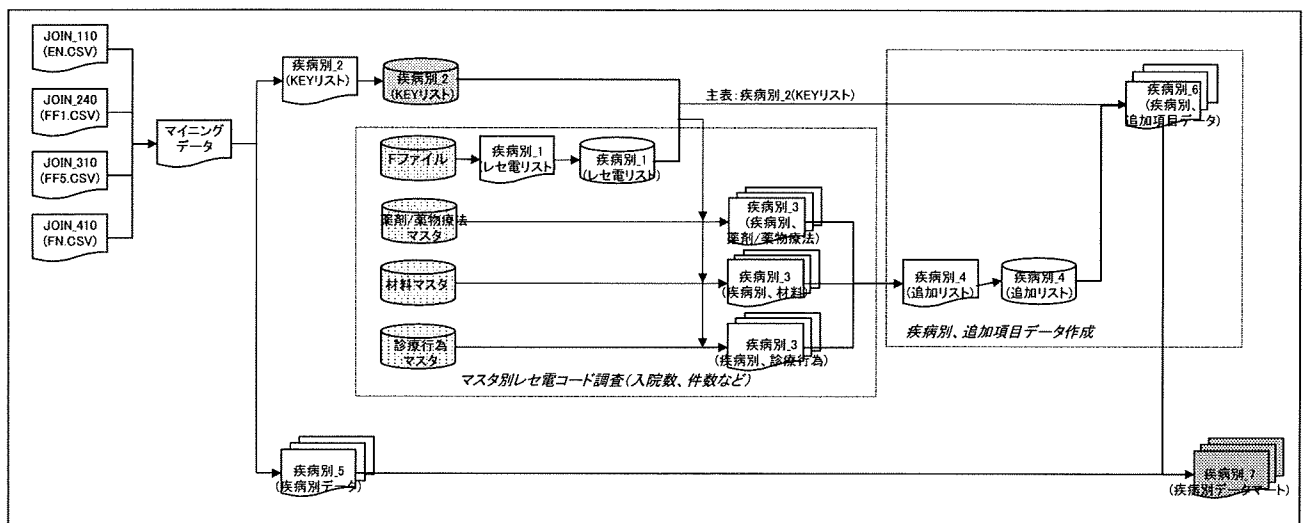
加工フロー(2/3)



加工フロー(3/3)



データ加工(疾病別データマート作成)



【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイルを患者・入退院で集約（2004/04～10入院に絞込む）

1. EN.010 ENから金額計算																									
1) 入院別・データ区分で金額計算をする	DB2_ENALL_VW																								
(1) 対象TBL																									
(2) 計算値	薬剤 : 円・点区分=0(点)の場合、Sum(integer(行為薬剤料))*10、円・点区分=1(円)の場合、Sum(integer(行為薬剤料))。 材料 : 円・点区分=0(点)の場合、Sum(integer(行為材料料))*10、円・点区分=1(円)の場合、Sum(integer(行為材料料))。 行為 : 円・点区分=0(点)の場合、[Sum(integer(行為点数)-Sum(integer(行為薬剤料))-Sum(integer(行為材料料)))*10、 円・点区分=1(円)の場合、[Sum(integer(行為点数)-Sum(integer(行為薬剤料))-Sum(integer(行為材料料)))]。																								
(3) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日 データ区分 円・点区分																								
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 データ区分																								
2) MYDBへ保存																									
2. EN.020 金額セット																									
1) データ区分に応じて各金額をセット(データ区分ごとに金額(薬剤料、材料料、行為)をそれぞれに該当するフィールドにセットする)	EN_010																								
(1) 対象TBL																									
(2) 計算値	下記をD11～D97について計算する D11薬剤1 : III(データ区分='11'薬剤,0) ⇒データ区分='11'の場合、薬剤を「D11薬剤1」にセットする。'11'でないときは「0(ゼロ)」をセットする。 D11材料1 : III(データ区分='11'材料,0) ⇒データ区分='11'の場合、材料を「D11材料1」にセットする。'11'でないときは「0(ゼロ)」をセットする。 D11行為1 : III(データ区分='11'行為,0) ⇒データ区分='11'の場合、行為を「D11行為1」にセットする。'11'でないときは「0(ゼロ)」をセットする。																								
	※データ区分																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>データ区分</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>11</td><td>初診</td></tr> <tr><td>2</td><td>13</td><td>指導</td></tr> <tr><td>3</td><td>14</td><td>在宅</td></tr> <tr><td>4</td><td>21</td><td>服薬</td></tr> <tr><td>5</td><td>22</td><td>屯服</td></tr> <tr><td>6</td><td>23</td><td>外用</td></tr> <tr><td>7</td><td>24</td><td>調剤＝入院</td></tr> </tbody> </table>	No.	データ区分	名称	1	11	初診	2	13	指導	3	14	在宅	4	21	服薬	5	22	屯服	6	23	外用	7	24	調剤＝入院
No.	データ区分	名称																							
1	11	初診																							
2	13	指導																							
3	14	在宅																							
4	21	服薬																							
5	22	屯服																							
6	23	外用																							
7	24	調剤＝入院																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>データ区分</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>8</td><td>26</td><td>麻酔</td></tr> <tr><td>9</td><td>27</td><td>調基</td></tr> <tr><td>10</td><td>31</td><td>皮下筋肉内</td></tr> <tr><td>11</td><td>32</td><td>静脈内</td></tr> <tr><td>12</td><td>33</td><td>その他33</td></tr> <tr><td>13</td><td>40</td><td>処置</td></tr> <tr><td>14</td><td>50</td><td>手術</td></tr> </tbody> </table>	No.	データ区分	名称	8	26	麻酔	9	27	調基	10	31	皮下筋肉内	11	32	静脈内	12	33	その他33	13	40	処置	14	50	手術
No.	データ区分	名称																							
8	26	麻酔																							
9	27	調基																							
10	31	皮下筋肉内																							
11	32	静脈内																							
12	33	その他33																							
13	40	処置																							
14	50	手術																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>データ区分</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>15</td><td>54</td><td>麻酔</td></tr> <tr><td>16</td><td>60</td><td>検査</td></tr> <tr><td>17</td><td>70</td><td>画像診断</td></tr> <tr><td>18</td><td>80</td><td>その他80</td></tr> <tr><td>19</td><td>90</td><td>入院基本料＝入院</td></tr> <tr><td>20</td><td>92</td><td>特定入院料＝入院</td></tr> <tr><td>21</td><td>97</td><td>食事療養・標準・負担額＝入院</td></tr> </tbody> </table>	No.	データ区分	名称	15	54	麻酔	16	60	検査	17	70	画像診断	18	80	その他80	19	90	入院基本料＝入院	20	92	特定入院料＝入院	21	97	食事療養・標準・負担額＝入院
No.	データ区分	名称																							
15	54	麻酔																							
16	60	検査																							
17	70	画像診断																							
18	80	その他80																							
19	90	入院基本料＝入院																							
20	92	特定入院料＝入院																							
21	97	食事療養・標準・負担額＝入院																							
2) MYDBへ保存																									

【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイルを患者・入退院で集約（2004/04～10入院に絞込む）

3. EN.030 入院別まとめ	
1) 入院毎に金額をまとめる	EN_020
(1) 対象TBL	
(2) 計算値	下記をD11～D97について計算する D11薬剤=Sum(D11薬剤1) D11材料=Sum(D11材料1) D11行為=Sum(D11行為1)
(3) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日
2) MYDBに保存する	
4. EN.040 金額合計	
1) データ区分ごとの金額合計など	
(1) 対象TBL	EN_030
(2) 計算値	薬剤合計 : D11薬剤+D13薬剤+～D97薬剤 材料合計 : D11材料+D13材料+～D97材料 行為合計 : D11行為+D13行為+～D97行為 総合計 : 薬剤合計+材料合計+行為合計 出来高評価部分(データ区分、処置1000点) : 薬剤(D50、D54)+材料(D50、D54)+行為(D11～D14、D50～D54、D80、D92～D97)+D40行為≥10000の場合、D40行為 包括評価部分(データ区分、処置1000点) : 薬剤(D50、D54を除くすべて)+材料(D50、D54を除くすべて)+行為(D21～D28、D31～D33、D60、D70、D90) +D40行為<10000の場合、D40行為 出来高評価部分(データ区分) : 薬剤(D50、D54)+材料(D50、D54)+行為(D11～D14、D50～D54、D80、D92～D97) 包括評価部分(データ区分) : 薬剤(D50、D54を除くすべて)+材料(D50、D54を除くすべて)+行為(D21～D28、D31～D33、D40、D60、D70、D90) 下記をD11～D97について計算する D11合計 : D11薬剤+D11材料+D11行為 D11% : D11合計÷総合計*100
(3) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日
2) MYDBに保存する	



【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイルを患者・入退院で集約（2004/04～10入院に絞込む）

5	EN_050 特定入院料等
1)	特定入院料の加算・処置の出来高を計算する(検査(D60、一部を出来高へ移動)、処置(D40、一部を出来高へ移動)、特定入院料(D92、一部を包括へ移動)をレセ電コードベースで調整)
(1)	対象TBL DB2.ENALL_VW DB2.MST_SINRYO_調整対象
(2)	結合条件 ENALL_VWレセプト電算処理システムコード = MST.SINRYO_VW診療行為コード
(3)	計算値 薬剤 :SUM(Integer(行為薬剤料))*10 材料 :SUM(Integer(行為材料料))*10 行為 :SUM(Integer(行為点数))-SUM(Integer(行為薬剤料))-SUM(Integer(行為材料料))*10 D92行為,包括加算 :データ区分="92"の場合、行為。データ区分≠"92"の場合、0。 D60行為,出来高分 :データ区分="60"の場合、行為。データ区分≠"60"の場合、0。 D40行為,出来高分 :データ区分="40"の場合、行為。データ区分≠"40"の場合、0。 件数 :COUNT(*) 行為回数合計 :SUM(Integer(行為回数))
(4)	抽出条件 20040401 ≤ 入院年月日 ≤ 20041031
(5)	グループ項目 施設コード データ識別番号 入院年月日 データ区分 レセプト電算処理システムコード
(5)	並び替え 施設コード データ識別番号 入院年月日 データ区分 レセプト電算処理システムコード
2)	MYDBに保存する
6	EN_060 特定入院料等・入院費
1)	特定入院料・検査を入院毎にまとめる
(1)	対象TBL EN_050
(2)	結合条件 施設コード データ識別番号 入院年月日
(3)	計算値 D92行為,包括加算 :SUM(EN_050.D92行為,包括加算) D60行為,出来高分 :SUM(EN_050.D60行為,出来高分) D40行為,出来高分 :SUM(EN_050.D40行為,出来高分)
(4)	グループ項目 施設コード データ識別番号 入院年月日
(5)	並び替え 施設コード データ識別番号 入院年月日
2)	MYDBに保存する

【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイルを患者・入退院で集約（2004/04～10入院に絞込む）

7	EN_110 特定入院料対応表
1)	レセ電の対応表をコピーする
(1)	対象TBL DB2_特定入院料対応表
8	EN_120 特定入院料加算分計算
1)	特定入院料の加算分(包括点数)を計算する
(1)	対象TBL EN_050(主表) 特定入院料対応表
(2)	結合条件 EN_050レセプト電算処理システムコード = 特定入院料対応表 診療行為コード
(3)	計算値 加算金額1 :IF(IsNull(期間1) OR (期間1-件数)>=0,点数1*件数*10,点数1*期間1*10) 加算金額2 :IF(IsNull(期間2) OR (期間1-件数)>=0,IF(期間2-件数)>=0,点数2*(件数-期間1)*10,点数2*(期間2-期間1)*10) 加算金額3 :IF(IsNull(期間3) OR (期間2-件数)>=0,IF(期間3-件数)>=0,点数3*(件数-期間2)*10,点数3*(期間3-期間2)*10) 加算金額 :加算金額1 + 加算金額2 + 加算金額3
(4)	抽出条件 データ区分="92"
(5)	並び替え 施設コード データ識別番号 入院年月日
2)	MYDBに保存する
9	EN_130 加算金額を入院毎に
1)	特定入院料加算金額(包括点数)を入院毎にまとめる
(1)	対象TBL EN_120
(2)	計算値 特定入院料加算 :SUM(加算金額)
(3)	グループ項目 施設コード データ識別番号 入院年月日
(4)	並び替え 施設コード データ識別番号 入院年月日
2)	MYDBに保存する

【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイルを患者・入退院で集約（2004/04~10入院に絞込む）

10	EN 210: 外泊日数カウント
1)	外泊に該当するレセ電コードを入院毎にカウントする(1泊1レコード)
(1)	対象TBL DB2_ENALL_VW
(2)	計算値 外泊カウント :COUNT(*)
(3)	抽出条件 20040401 ≤ 入院年月日 ≤ 20041031 かつ (レセプト電算処理システムコード='190107290' または '190107390' または '190107490' または '190107590')
(4)	グループ項目 施設コード データ識別番号 入院年月日
(5)	並び替え 施設コード データ識別番号 入院年月日
2)	MYDBIに保存する
11	EN 220: 特定入院料等・外泊結合
1)	特定入院料・検査の出来高・包括の再計算、外泊日数結合
(1)	対象TBL EN_040(主表) EN_060 EN_210
(2)	結合条件 施設コード データ識別番号 入院年月日
(3)	計算値 D60行為(出) :IIF(IsNull(D60行為,出来高),0,D60行為,出来高) D60行為(包) :IIF(IsNull(D60行為,出来高),D60行為,D60行為-D60行為,出来高) D92行為(出) :IIF(IsNull(D92行為,包括加算),D92行為,D92行為-D92行為,包括加算) D92行為(包) :IIF(IsNull(D92行為,包括加算),0,D92行為,包括加算) 外泊日数 :IIF(IsNull(外泊カウント),0,外泊カウント) 出来高評価部分(処置1000点) :出来高評価部分(データ区分, 処置1000点)+D60行為(出)-D92行為(包) 包括評価部分(処置1000点) :包括評価部分(データ区分, 処置1000点)-D60行為(出)+D92行為(包) 出来高評価部分 :出来高評価部分(データ区分)+D40行為(出)-D92行為(包) 包括評価部分 :包括評価部分(データ区分)-D40行為(出)-D60行為(出)+D92行為(包)
(4)	並び替え 施設コード データ識別番号 入院年月日
2)	MYDBIに保存する

【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイルを患者・入退院で集約（2004/04~10入院に絞込む）

12	EN 310: 特定入院料加算分を結合
1)	特定入院料加算分(包括点数)を結合する
(1)	対象TBL EN_220(主表) EN_130
(2)	結合条件 施設コード データ識別番号 入院年月日
(3)	計算値 特定入院料加算 :IIF(IsNull(EN_130 特定入院料加算),0,EN_130 特定入院料加算)
(4)	並び替え 施設コード データ識別番号 入院年月日
2)	MYDBIに保存する
13	EN 510: 特定入院料レセ電リストをFファイルから作成
1)	特定入院料のレセ電リストをFファイルから作成
(1)	対象TBL DB2_FNALL_VW DB2_MST_SINRYO_調整対象
(2)	結合条件 FNALL_VWレセプト電算コード = MST_SINRYO_調整対象.診療行為コード
(3)	計算値 行為明細点数合計 :SUM(INTEGER(行為明細点数)) 行為明細点数平均 :AVG(INTEGER(行為明細点数)) 件数 :COUNT(*)
(4)	抽出条件 20040401 ≤ 入院年月日 ≤ 20041031 かつ コード表用番号(記号)='A' かつ データ区分='92'
(5)	グループ項目 施設コード データ識別番号 入院年月日 レセプト電算コード MST_SINRYO_調整対象.診療行為漢字名称
2)	MYDBIに保存する
14	EN 520: 特定入院料対応表
1)	レセ電の対応表をコピーする
(1)	対象TBL DB2.特定入院料対応表

【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイルを患者・入退院で集約（2004/04～10入院に絞込む）

<b>15. EN_530. 特定入院料加算分計算FN</b>					
1)	Fファイルからの特定入院料の加算分を計算する(レセ電ごと)				
(1) 対象TBL	EN_310 EN_510 特定入院料対応表				
(2) 結合条件	EN_310とEN_510 施設コード データ識別番号 入院年月日	EN_510と特定入院料対応表 EN_510.レセプト電算コード = 特定入院料対応表.診療行為コード			
(3) 計算値	加算金額1 加算金額2 加算金額3 加算金額	:IF(IsNull(期間1) OR (期間1-件数)>=0,点数1*件数*10,点数1*期間1*10) :IF(IsNull(期間2) OR (期間1-件数)>=0,0,IF(期間2-件数)>=0,点数2*(件数-期間2)*10,点数2*(期間2-期間1)*10) :IF(IsNull(期間3) OR (期間2-件数)>=0,0,IF(期間3-件数)>=0,点数3*(件数-期間2)*10,点数3*(期間3-期間2)*10) :加算金額1 + 加算金額2 + 加算金額3			
2)	MYDBに保存する				
<b>16. EN_540. 特定入院料加算分合計</b>					
1)	Fファイルからの特定入院料加算分を入院毎にまとめる				
(1) 対象TBL	EN_530				
(2) 計算値	特定入院料加算合計 特定入院料加算件数合計	:SUM(加算金額) :SUM(加算金額)/特定入院料加算件数合計			
(3) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日				
2)	MYDBに保存する				
<b>17. EN_601. FN調整対象抽出1</b>					
1)	Fファイルから調整対象のレコードを抽出する				
(1) 対象TBL	FNALL_VW MST_SINRYO_調整対象				
(2) 結合条件	FNALL_VW.レセプト電算コード = MST_SINRYO_調整対象.診療行為コード				
(3) 抽出項目	施設コード データ識別番号 入院日 退院日	データ区分 順序番号 行為明細番号 病院点数マスタコード	レセプト電算コード 解釈番号(基本) 診療明細名称 使用量	基準単位 行為明細点数 行為明細薬剤料 行為明細材料料	
(4) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院日 退院日	データ区分 順序番号 行為明細番号 病院点数マスタコード	レセプト電算コード 解釈番号(基本) 診療明細名称 使用量	基準単位 行為明細点数 行為明細薬剤料 行為明細材料料	
2)	MYDBに保存する				

【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイルを患者・入退院で集約（2004/04～10入院に絞込む）

<b>18. EN_602. FN調整対象抽出2</b>					
1)	EN_601から行為明細番号=001のレコードを抽出し、CSV化する				
(1) 対象TBL	EN_601				
(2) 抽出項目	施設コード データ識別番号 入院日 退院日	データ区分 順序番号 行為明細番号 病院点数マスタコード	レセプト電算コード 解釈番号(基本) 診療明細名称 使用量	基準単位 行為明細点数 行為明細薬剤料 行為明細材料料	
(3) 抽出条件	行為明細番号 = '001'				
2)	CSV化する				
<b>19. EN_603. FN調整対象ロード</b>					
1)	EN_602の結果をDB2へロードする				
(1) 対象ファイル	EN_602.csv				
2)	DB2へロード				
(1) テーブル名	FN_調整対象				
<b>20. EN_610. FN調整対象重複調査1</b>					
1)	施設コード～順序番号が同一でレセ電が異なるものを抽出				
(1) 対象TBL	DB2.FN_調整対象				
(2) 計算値	レセ電件数 レセ電種類数	:COUNT(レセプト電算コード) :COUNT(DISTINCT レセプト電算コード)			
(3) 抽出条件	20040401 ≤ 入院年月日 かつ (データ区分 = '40' または '60' または '92')				
(4) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日 データ区分 順序番号				
(5) グループ条件	レセ電種類数 ≥ 2				
2)	MYDBに保存する				

【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイルを患者・入退院で集約（2004/04～10入院に絞込む）

21.	EN 630 FN調整対象重複調査3
1)	FN調整対象のうちレセ電に該当するマスタがないものを抽出
(1) 対象TBL	DB2 FN調整対象 DB2.MST_SINRYO調整対象
(2) 結合条件	MST_SINRYO調整対象 ON FN調整対象レセプト電算コード = MST_SINRYO調整対象診療行為コード
(3) 計算値	重複チェック :MST_SINRYO調整対象診療行為漢字名称=NULLの場合、“”。MST_SINRYO調整対象診療行為漢字名称≠NULLの場合、“有”。
(4) 抽出条件	20040401 ≤ 入院年月日 かつ (データ区分 = '40' または '60' または '92')
(5) グループ条件	重複チェック = “有”
2)	MYDBに保存する
22.	EN 640 FN調整対象重複調査4
1)	施設コード～順序番号が同一でレセ電が異なり、かつレセ電に対応するマスタがないものを抽出する
(1) 対象TBL	EN_630(主表) EN_610
(2) 結合条件	施設コード データ識別番号 入院年月日
(3) 抽出条件	レセ電種類数 ≥ 2
(4) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日 重複チェック
2)	MYDBに保存する

【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイルを患者・入退院で集約（2004/04～10入院に絞込む）

23.	EN 401 EF連携対象抽出
1)	EファイルとFN調整対象(FN 603)を連携し、調整点数を抽出する (DB2 SQLで施設別に選択)
(1) 対象TBL	FNALL_VW MST_SINRYO調整対象
(2) 結合条件	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日 データ区分 順序番号
(3) 計算値	D40行為 :データ区分='40' の場合、SUM(INTEGER(行為点数)-INTEGER(行為薬剤料)-INTEGER(行為材料料)) D60行為 :データ区分='60' の場合、SUM(INTEGER(行為点数)-INTEGER(行為薬剤料)-INTEGER(行為材料料)) D92行為 :データ区分='92' の場合、SUM(INTEGER(行為点数)-INTEGER(行為薬剤料)-INTEGER(行為材料料))
(4) 抽出条件	データ区分 = '40' または '60' または '92'
(3) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日 データ区分
2)	CSV化する
24.	EN 402 EF連携対象ロード
1)	EN_401の結果をDB2へロードする(施設別データを1つに結合後、ロード)
(1) 対象ファイル	EN_401.csv
2)	DB2へロード
(1) テーブル名	EF連携_VW
25.	EN 410 EF連携点数を入院毎に
1)	EF連携結果点数をを入院毎にまとめ、点数にV10を掛ける
(1) 対象TBL	DB2.EF連携_VW
(2) 計算値	D40行為_出来高(EF) :SUM(EF連携D40行為_出来高(EF))*10 D60行為_出来高(EF) :SUM(EF連携D60行為_出来高(EF))*10 D92行為_包括(EF) :SUM(EF連携D92行為_包括(EF))*10 D40件数_出来高(EF) :SUM(EF連携D40件数_出来高(EF)) D60件数_出来高(EF) :SUM(EF連携D60件数_出来高(EF)) D92件数_包括(EF) :SUM(EF連携D92件数_包括(EF))
(3) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日
2)	MYDBに保存する

【2-3. データ加工処理詳細】

1. ENファイル患者・入院で集約 (2004/04~10入院に絞込む)

26	ENファイル連携結果結合
1)	EF連携結果などを結合
(1) 対象TBL	EN_310(主表) EN_410 EN_540 EN_640
(2) 結合条件	施設コード データ識別番号 入院年月日
(3) 計算値	D40行為(EF)〈出〉 : If(IsNull(D40行為_出来高(EF)),0,D40行為_出来高(EF)) D40行為(EF)〈包〉 : If(IsNull(D40行為_出来高(EF)),D40行為_D40行為_出来高(EF)) D60行為(EF)〈出〉 : If(IsNull(D60行為_出来高(EF)),0,D60行為_出来高(EF)) D60行為(EF)〈包〉 : If(IsNull(D60行為_出来高(EF)),D60行為_D60行為_出来高(EF)) D92行為(EF)〈出〉 : If(IsNull(D92行為_包括(EF)),D92行為_D92行為_包括(EF)) D92行為(EF)〈包〉 : If(IsNull(D92行為_包括(EF)),0,EN_410.D92行為_包括(EF)) 出来高評価部分(EF) : 出来高評価部分(データ区分)+D40行為(EF)〈出〉+D60行為(EF)〈出〉+D92行為(EF)〈包〉 包括評価部分(EF) : 包括評価部分(データ区分)+D40行為(EF)〈出〉+D60行為(EF)〈出〉+D92行為(EF)〈包〉 特定入院料加算(F) : EN_310.特定入院料加算.If(IsNull(特定入院料加算合計),0.特定入院料加算合計) EF連携KEY重複判定 : If(IsNull(重複チェック),無,有)
2)	MYDBに保存する

【2-3. データ加工処理詳細】

2. FF5にDPC点数表と変換テーブルを付加

1	FF5_010 診断群分類
1)	診断群分類テーブルをMYDBへコピーする
(1) 対象TBL	DB2_診断群分類
2	FF5_020 診断群分類変換TBL
1)	診断群分類変換テーブルをMYDBへコピーする このとき、同一診断群分類番号で「体重」「手術」などが異なるものが存在するため、診断群分類番号でユニークにする
(1) 対象TBL	DB2_診断群分類変換テーブル
(2) 計算値	包括フラグ : Max 年齢、出生時体重等_体重 : Max 年齢、出生時体重等_BURN_INDEX : Max 手術 : 診断群分類番号の9桁目から2桁 手術_処置等1 : 診断群分類番号の11目から1桁 手術_処置等2 : 診断群分類番号の12目から1桁 副傷病 : 診断群分類番号の13目から1桁
(3) グループ項目	電算用通し番号 : 年齢、出生時体重等_年齢 : 重症度_JCS 診断群分類番号 : 年齢、出生時体重等_JCS : 重症度_一側両側 包括フラグ : 手術 : 重症度_初回再手術 MDC : 手術_処置等1 : 重症度_片眼両眼 医療資源を最も投入した傷病名 : 手術_処置等2 : 重症度_片側両側 入院目的 : 副傷病
2)	MYDBへ保存
3	FF5_030 入院別まとめ
1)	月別のデータを入院毎にまとめる
(1) 対象TBL	DB2_FF5ALL_VW
(2) 計算値	包括評価点数 : Sum 出来高点数 : Sum 食事療養費 : Sum 診断群分類番号_種類数 : COUNT(DISTINCT(診断群分類番号)) 医療機関別係数_種類数 : COUNT(DISTINCT(医療機関別係数))
(3) 抽出条件	20040401 ≤ 入院年月日 ≤ 20041031
(4) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日 算定開始日 算定起算日
(5) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 算定開始日
2)	MYDBへ保存

【2-3. データ加工処理詳細】

2. FF5にDPC点数表と変換テーブルを追加

4. FF5_040 算定終了時診断群分類	
1) 算定終了時の診断群分類番号・医療機関別係数を求める	
(1) 対象TBL	DB2_FF5ALL_VW
(2) 計算値	診断群分類番号 :Lower(診断群分類番号) 小文字化
(3) 抽出条件	20040401 ≤ 入院年月日 ≤ 20041031 かつ 20040401 ≤ 退院年月日 ≤ 20041031 かつ 入院年月日 ≤ 算定開始日 ≤ 算定終了日 ≤ 退院年月日
(4) グループ項目	施設コード 算定開始日 入院期間II外泊日数 データ識別番号 算定終了日 入院期間I外泊日数 入院年月日 診断群分類番号 特定入院期間外泊 退院年月日 医療機関別係数
(5) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日 算定開始日 算定終了日
2) MYDBへ保存	
5. FF5_050 診断群分類点数表結合	
1) 算定期間・在院日数を算出し、診断分分類点数表を結合する	
(1) 対象TBL	FF5_030 FF5_040 FF5_010_診断群分類
(2) 結合条件	FF5_030とFF5_040 FF5_040とFF5_010_診断群分類 施設コード 診断群分類番号 データ識別番号 入院年月日 算定開始日
(3) 計算値	在院日数 :退院年月日 - 入院年月日 + 1 算定期間 :算定終了日 - 算定開始日 + 1
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日 算定開始日 算定終了日
2) MYDBへ保存	

【2-3. データ加工処理詳細】

2. FF5にDPC点数表と変換テーブルを追加

6. FF5_060 包括点数算出 I未済	
1) 算定期間<入院期間Iの包括評価点数を算出する	
(1) 対象TBL	FF5_050
(2) 計算値	I未済フラグ :入院期間I-1-算定期間 I-II未済フラグ :入院期間II-1-算定期間 II-特以下フラグ :特定入院期間-算定期間 包括評価点数算出 : (算定期間-入院期間I外泊日数) * 点数I未済 * 医療機関別係数 (小数点以下四捨五入) 包括評価点数算出(外泊含) : 算定期間 * 点数I未済 * 医療機関別係数 (小数点以下四捨五入) 算定期間判定 : 1
(3) 抽出条件	I未済フラグ ≥ 0
2) MYDBへ保存	
7. FF5_070 包括点数算出 II未済	
1) 入院期間I ≤ 算定期間 < 入院期間IIの包括評価点数を算出する	
(1) 対象TBL	FF5_050
(2) 計算値	I未済フラグ :入院期間I-1-算定期間 I-II未済フラグ :入院期間II-1-算定期間 II-特以下フラグ :特定入院期間-算定期間 包括評価点数算出 : [(入院期間I-1-入院期間II外泊日数) * 点数I未済 + (算定期間 - (入院期間I-1) - 入院期間II外泊日数) * 点数I ~ II未済] * 医療機関別係数 (小数点以下四捨五入) 包括評価点数算出(外泊含) : [(入院期間I-1) * 点数I未済 + (算定期間 - (入院期間I-1)) * 点数I ~ II未済] * 医療機関別係数 (小数点以下四捨五入) 算定期間判定 : 2
(3) 抽出条件	I未済フラグ < 0 かつ I-II未済フラグ ≥ 0
2) MYDBへ保存	
8. FF5_080 包括点数算出 特定以下	
1) 入院期間II ≤ 算定期間 ≤ 特定期間の包括評価点数を算出する	
(1) 対象TBL	FF5_050
(2) 計算値	I未済フラグ :入院期間I-1-算定期間 I-II未済フラグ :入院期間II-1-算定期間 II-特以下フラグ :特定入院期間-算定期間 包括評価点数算出 : [(入院期間I-1-入院期間II外泊日数) * 点数I未済 + (入院期間II-1-入院期間I-1-入院期間II外泊日数) * 点数I ~ II未済 + (算定期間 - (入院期間II-1) - 特定入院期間外泊日数) * 点数II以上] * 医療機関別係数 (小数点以下四捨五入) 包括評価点数算出(外泊含) : [(入院期間I-1) * 点数I未済 + (入院期間II-1-入院期間I) * 点数I ~ II未済 + (算定期間 - (入院期間II-1)) * 点数II以上] * 医療機関別係数 (小数点以下四捨五入) 算定期間判定 : 3
(3) 抽出条件	I未済フラグ < 0 かつ I-II未済フラグ < 0 かつ II-特以下フラグ ≥ 0
2) MYDBへ保存	

【2-3. データ加工処理詳細】

2. FF5にDPC点数表と変換テーブルを付加

9. FF5_090. 包括点数算出(特定症)		
1)	特定期間<算定期間の包括評価点数を算出する	
(1) 対象TBL	FF5_050	
(2) 計算値	I 未済フラグ I-II 未済フラグ II-特以下フラグ 包括評価点数算出 包括評価点数算出(外泊含) 算定期間判定	: 入院期間 I-1-算定期間 : 入院期間 II-1-算定期間 : 特定入院期間-算定期間 : {(入院期間 I-1-入院期間(外泊日数) * 点数 I 未済 + (入院期間 II-入院期間 I-入院期間(外泊日数) * 点数 I ~ II 未済 + (特定入院期間-(入院期間 II-1)-特定入院期間外泊) * 点数 II 以上) * 医療機関別係数 (小数点以下四捨五入)} : {(入院期間 I-1) * 点数 I 未済 + (入院期間 II-入院期間 I) * 点数 I ~ II 未済 + (特定入院期間-(入院期間 II-1)) * 点数 II 以上} * 医療機関別係数 (小数点以下四捨五入) : 4
(3) 抽出条件	I 未済フラグ<0 かつ I-II 未済フラグ<0 かつ II-特以下フラグ<0	
2)	MYDBへ保存	
10. FF5_100. 算出結果合併		
1)	合併する	
(1) 対象TBL	FF5_060 FF5_070 FF5_080 FF5_090	
2)	MYDBへ保存	
11. FF5_120. 算定期間カウント		
1)	1人退院内の算定期間をカウントする	
(1) 対象TBL	FF5_100	
(2) 計算値	算定期間	: COUNT(*)
(3) グループ条件	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日	
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日	
2)	MYDBへ保存	

【2-3. データ加工処理詳細】

2. FF5にDPC点数表と変換テーブルを付加

12. FF5_130. 変換テーブル結合		
1)	FF5_100に診断群分類変換テーブルと算定期間を結合する	
(1) 対象TBL	FF5_100 (主表) FF5_120 FF5_020. 診断群分類変換テーブル	
(2) 結合条件	FF5_100とFF5_120 施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日	FF5_100とFF5_020. 診断群分類変換テーブル 診断群分類番号
(3) 計算値	包括評価点数差分 在院日数比率	: 包括評価点数-包括評価点数算出 : 在院日数÷入院期間 II
2)	MYDBへ保存	

【2-3. データ加工処理詳細】

3. FF1に入院時年齢・在院日数付加

1	FF1.010 コピー
1)	DB2からコピーし、入院時年齢を計算する
(1) 対象TBL	DB2_FF1ALL_VW
(2) 計算値	入院時年齢 : 生年月日_年-入院年月日_年
(3) 抽出条件	20040401 ≤ 入院年月日 ≤ 20041031 かつ 20040401 ≤ 退院年月日 ≤ 20041031 かつ 生年月日 ≤ 入院年月日 かつ (手術1_手術日 = Null または 入院年月日 ≤ 手術1_手術日 ≤ 退院年月日) かつ (手術2_手術日 = Null または 入院年月日 ≤ 手術2_手術日 ≤ 退院年月日) かつ (手術3_手術日 = Null または 入院年月日 ≤ 手術3_手術日 ≤ 退院年月日) かつ (手術4_手術日 = Null または 入院年月日 ≤ 手術4_手術日 ≤ 退院年月日) かつ (手術5_手術日 = Null または 入院年月日 ≤ 手術5_手術日 ≤ 退院年月日)
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
2)	MYDBへ保存する
2	FF1.020 手術難易度TBLコピー
1)	手術難易度TBLをMYDBへコピー
(1) 対象TBL	DB2_MST_OPE
3	FF1.030 手術難易度検索
1)	手術難易度TBLから難易度・点数を検索
(1) 対象TBL	FF1.010 FF1.020_手術難易度TBL
(2) 結合条件	手術1_点数表コード=手術指数TBL_点数表コード または 手術2_点数表コード=手術指数TBL_点数表コード または 手術3_点数表コード=手術指数TBL_点数表コード または 手術4_点数表コード=手術指数TBL_点数表コード または 手術5_点数表コード=手術指数TBL_点数表コード
(3) 計算値	下記を手術1～手術5について計算する 手術1_手術難易度 : III(手術1_点数表コード=手術難易度TBL_点数表コード_難易度,"") ⇒手術1_点数表コード=手術難易度TBL_点数表コードの場合、手術難易度TBLの難易度を「手術1_手術難易度」にセットする。一致しないときは""をセットする。 手術1_手術指数 : III(手術1_点数表コード=手術指数TBL_点数表コード_指数,"") ⇒手術1_点数表コード=手術指数TBL_点数表コードの場合、手術指数TBLの指数を「手術1_手術指数」にセットする。一致しないときは""をセットする。 手術1_手術点数 : III(手術1_点数表コード=手術点数TBL_点数表コード_点数,"") ⇒手術1_点数表コード=手術点数TBL_点数表コードの場合、手術点数TBLの点数を「手術1_手術点数」にセットする。一致しないときは""をセットする。
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
2)	MYDBに保存する

【2-3. データ加工処理詳細】

3. FF1に入院時年齢・在院日数付加

4	FF1.040 難易度を入院単位にまとめる																		
1)	FF1.030を入院単位にまとめる																		
(1) 対象TBL	FF1.030																		
(2) 計算値	下記を手術1～手術5について計算する 手術1_手術難易度 : Max 手術1_手術点数 : Max 手術1_手術指数 : Max																		
(3) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日																		
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日																		
2)	MYDBに保存する																		
5	FF1.050 手術1_手術日抽出～FF1.090 手術5_手術日抽出																		
初回・最終手術日、手術回数を求めるために、手術日1～手術日5別に抽出する																			
1)	点数表コード="K"の手術日を抽出する																		
(1) 対象TBL	FF1.040																		
(2) 抽出条件	点数表コードが"K"で始まる																		
(3) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日 手術日																		
(4) MYDBへ保存																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>処理名</th> <th>点数表コード</th> <th>手術日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FF1.050 手術1_手術日抽出</td> <td>手1_点数表コード</td> <td>手1_手術日</td> </tr> <tr> <td>FF1.060 手術2_手術日抽出</td> <td>手2_点数表コード</td> <td>手2_手術日</td> </tr> <tr> <td>FF1.070 手術3_手術日抽出</td> <td>手3_点数表コード</td> <td>手3_手術日</td> </tr> <tr> <td>FF1.080 手術4_手術日抽出</td> <td>手4_点数表コード</td> <td>手4_手術日</td> </tr> <tr> <td>FF1.090 手術5_手術日抽出</td> <td>手5_点数表コード</td> <td>手5_手術日</td> </tr> </tbody> </table>	処理名	点数表コード	手術日	FF1.050 手術1_手術日抽出	手1_点数表コード	手1_手術日	FF1.060 手術2_手術日抽出	手2_点数表コード	手2_手術日	FF1.070 手術3_手術日抽出	手3_点数表コード	手3_手術日	FF1.080 手術4_手術日抽出	手4_点数表コード	手4_手術日	FF1.090 手術5_手術日抽出	手5_点数表コード	手5_手術日
処理名	点数表コード	手術日																	
FF1.050 手術1_手術日抽出	手1_点数表コード	手1_手術日																	
FF1.060 手術2_手術日抽出	手2_点数表コード	手2_手術日																	
FF1.070 手術3_手術日抽出	手3_点数表コード	手3_手術日																	
FF1.080 手術4_手術日抽出	手4_点数表コード	手4_手術日																	
FF1.090 手術5_手術日抽出	手5_点数表コード	手5_手術日																	
10	FF1.100 手術合併																		
1)	合併する																		
(1) 対象TBL	FF1.050 FF1.060 FF1.070 FF1.080 FF1.090																		
2)	MYDBへ保存																		



【2-3. データ加工処理詳細】

3. FF1に入院時年齢・在院日数付加

11. FF1_110_手術数1	
1) 手術数、初回手術日、最終手術日を求める(手術日≠Null)	
(1) 対象TBL	FF1_100
(2) 計算値	初回手術日 :Min(手術日) 最終手術日 :Max(手術日) 手術数 :COUNT(*)
(3) 抽出条件	手術日≠NULL
(4) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
(5) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
2) MYDBへ保存	
12. FF1_111_手術数2	
1) 手術数(手術日=Null)を求める	
(1) 対象TBL	FF1_100
(2) 計算値	手術数 :COUNT(*)
(3) 抽出条件	手術日=Null
(4) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
(5) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
2) MYDBへ保存	

【2-3. データ加工処理詳細】

3. FF1に入院時年齢・在院日数付加

13. FF1_112_手術難易度	
1) 手術難易度(最大)などを求める	
(1) 対象TBL	FF1_100
(2) 計算値	手術難易度(最大) :Max(Int(手術難易度)) 手術難易度(合計) :Sum(Int(手術難易度)) 手術難易度数 :Count(手術難易度) 手術点数(最大) :Max(Int(手術点数)) 手術点数(合計) :Sum(Int(手術点数)) 手術指数(最大) :Max(Int(手術指数)) 手術指数(合計) :Sum(Int(手術指数))
(3) グループ項目	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
2) MYDBへ保存	
14. FF1_115_手術数・手術難易度結合	
1) 手術数、手術難易度をまとめる	
(1) 対象TBL	FF1_040 (主表) FF1_110 FF1_111 FF1_112
(2) 結合条件	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
(3) 計算値	手術数 :FF1_110_手術数+FF1_111_手術数
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
2) MYDBへ保存	

【2-3. データ加工処理詳細】

3. FF1に入院時年齢・在院日数付加

15	FF1_120併存・発症数カウント									
1)	入院時併存疾病数・入院後発症疾患数のカウント									
(1)	対象TBL FF1_010									
(2)	計算値 併存1有無 :併存疾病1_ICD10コード=Nullの場合「0」、併存疾病1_ICD10コード≠Nullの場合「1」 併存2有無 :併存疾病2_ICD10コード=Nullの場合「0」、併存疾病2_ICD10コード≠Nullの場合「1」 併存3有無 :併存疾病3_ICD10コード=Nullの場合「0」、併存疾病3_ICD10コード≠Nullの場合「1」 併存4有無 :併存疾病4_ICD10コード=Nullの場合「0」、併存疾病4_ICD10コード≠Nullの場合「1」 発症1有無 :発症疾患1_ICD10コード=Nullの場合「0」、発症疾患1_ICD10コード≠Nullの場合「1」 発症2有無 :発症疾患2_ICD10コード=Nullの場合「0」、発症疾患2_ICD10コード≠Nullの場合「1」 発症3有無 :発症疾患3_ICD10コード=Nullの場合「0」、発症疾患3_ICD10コード≠Nullの場合「1」 前回入院有無 :前回退院年月日=Nullの場合「無」、前回退院年月日≠Nullの場合「有」 前回同一疾病入院有無 :前回同一疾病自院入院有無=Nullの場合「無」、前回同一疾病自院入院有無≠Nullの場合「有」 入院投同一疾病判定 :入院の契機となった傷病名_ICD10コード≠医療資源を最も投入_傷病名_ICD10コードの場合「同」 入院の契機となった傷病名_ICD10コード=医療資源を最も投入_傷病名_ICD10コードの場合「異」 入院時併存疾病数 :主傷病名_ICD10コード=入院時併存疾病1_ICD10コードの場合、併存1有無+併存2有無+併存3有無+併存4有無-1 入院後発症疾患数 :発症1有無+発症2有無+発症3有無									
(3)	並び替え 施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日									
2)	MYDBへ保存									
16	FF1_130手術難易度・フラグ結合									
1)	手術難易度、フラグなどを結合する									
(1)	対象TBL FF1_010 (主表) FF1_040 FF1_115 FF1_120									
(2)	結合条件 施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日									
(3)	計算値 手術数 手術有無 手術難易度数 手術前経過日数 初回手術後経過日数 最終手術後経過日数  手術1~5.手術難易度は下記のように設定する <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2">点数表コード="K"で始まる</td> <td>点数表コード="K"で</td> </tr> <tr> <td>難易度=Null</td> <td>難易度≠Null</td> <td>始まらない</td> </tr> <tr> <td>設定値⇒</td> <td>99</td> <td>0</td> </tr> </table>	点数表コード="K"で始まる		点数表コード="K"で	難易度=Null	難易度≠Null	始まらない	設定値⇒	99	0
点数表コード="K"で始まる		点数表コード="K"で								
難易度=Null	難易度≠Null	始まらない								
設定値⇒	99	0								
2)	MYDBへ保存									

【2-3. データ加工処理詳細】

4. FNから処置有無を判定する

1.	FN_010処置
1)	FNより処置有無を調べる
(1)	対象TBL DB2.FNALL.VW DB2.処置
(2)	結合条件 レセプト電算コード
(3)	計算値 「処置一覧」参照、下記のように計算する A型ボツリヌス毒素 :CASE WHEN 処置名称=A型ボツリヌス毒素(ボツクス) THEN 1 ELSE 0 END (FNALL.VWIにA型ボツリヌス毒素(ボツクス)に該当するレセ電が存在すれば「1」(有)を設定、無ければ「0」(無)を設定する)
(4)	抽出条件 20040401 ≤ 入院年月日 ≤ 20041031
(5)	並び替え 施設コード データ識別番号 入院年月日
2)	MYDBに保存する
2.	FN_020処置を入院毎にまとめる
1)	処置を入院毎にまとめる
(1)	対象TBL FN_010
(2)	計算値 「処置一覧」参照、下記のように計算する A型ボツリヌス毒素 :Max(FN_010.A型ボツリヌス毒素)
(3)	グループ項目 施設コード データ識別番号 入院年月日
(4)	並び替え 施設コード データ識別番号 入院年月日
2)	MYDBへ保存

【2-3. データ加工処理詳細】

5. FF1にFF5・EN・FNの結果を付加(1~4の結果を使用)し、各種計算処理を行う

1 JOIN_000 施設名称マスターコピー		
1)	施設名称マスターをコピーする	
(1)	対象TBL	DB2.施設名称
(2)	計算値	施設コード1桁 :施設コードの1桁目
2 JOIN_010 分析対象選択		
1)	分析対象を絞る(算定回数複数回、包括点数算出=0は除く)	
(1)	対象TBL	FF1 FF5 EN
(2)	結合条件	FF1とFF5 :施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日 FF1とEN :施設コード データ識別番号 入院年月日
(3)	計算値	実入院日数 :FF5.在院日数-EN.外泊日数 食事療養費差額 :FF5.食事療養費-EN.D97行為 食事一致フラグ :食事療養費差額≧0の場合「0」、食事療養費差額<0の場合「1」 包括評価点数(加算) :FF5.包括評価点数+(EN.特定入院料加算÷10) 包括評価点数算出(加算) :FF5.包括評価点数算出+(EN.特定入院料加算÷10) 包括評価点数(加算)(F) :FF5.包括評価点数+(EN.特定入院料加算)(F)÷10 包括評価点数算出(加算)(F) :FF5.包括評価点数算出+(EN.特定入院料加算)(F)÷10
(4)	抽出条件	FF5.算定回数=1 かつ FF5.包括評価点数算出≠0
(5)	並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日
2)	MYDBへ保存	

【2-3. データ加工処理詳細】

5. FF1にFF5・EN・FNの結果を付加(1~4の結果を使用)し、各種計算処理を行う

3 JOIN_110 ENの日額計算		
1)	ENの日額を計算する	
(1)	対象TBL	JOIN_010 EN
(2)	結合条件	施設コード データ識別番号 入院年月日
(3)	計算値	下記をD11~D97まで計算する
	D11合計(日)	:D11合計÷実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	行為合計(日)	:行為合計÷実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	薬剤料合計(日)	:薬剤料合計÷実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	材料料合計(日)	:材料料合計÷実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	総合計(日)	:総合計÷実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	出来高評価部分_データ区分_処置1000点(日)	:出来高評価部分(データ区分_処置1000点)/実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	出来高評価部分_データ区分_処置1000点(日)	:出来高評価部分(データ区分_処置1000点)/実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	出来高評価部分_処置1000点(日)	:出来高評価部分(処置1000点)/実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	出来高評価部分_データ区分(日)	:出来高評価部分(データ区分)/実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	出来高評価部分_データ区分(日)	:出来高評価部分(データ区分)/実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	出来高評価部分_データ区分(日)	:出来高評価部分(データ区分)/実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	出来高評価部分_EF(日)	:出来高評価部分(EF)/実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	出来高評価部分_EF(日)	:出来高評価部分(EF)/実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	出来高評価部分_EF(日)	:出来高評価部分(EF)/実入院日数 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括△	:出来高包括△/(包括評価点数算出*10)*100 (小数点以下四捨五入)
	出来高包括△/日	:出来高包括△/実入院日数 (小数点以下四捨五入)
	出来高包括(加算)△	:包括評価点数算出(加算)*10-包括評価部分 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(加算)△%	:出来高包括(加算)△/(包括評価点数算出(加算)*10)*100 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(加算)△/日	:出来高包括(加算)△/実入院日数 (小数点以下四捨五入)
	出来高包括(F)△	:包括評価点数*10-包括評価部分 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(F)△%	:出来高包括(F)△/(包括評価点数*10)*100 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(F)△/日	:出来高包括(F)△/実入院日数 (小数点以下四捨五入)
	出来高包括(F)△	:包括評価点数(加算)*10-包括評価部分 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(F)△%	:出来高包括(F)△/(包括評価点数(加算)*10)*100 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(F)△/日	:出来高包括(F)△/実入院日数 (小数点以下四捨五入)
	出来高包括(EF)△	:包括評価点数算出(加算)*10-包括評価部分(EF) (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(EF)△%	:出来高包括(EF)△/(包括評価点数算出(加算)*10)*100 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(EF)△/日	:出来高包括(EF)△/実入院日数 (小数点以下四捨五入)
	出来高包括(加算)(EF)△	:包括評価点数算出(加算)(EF)*10-包括評価部分(EF) (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(加算)(EF)△%	:出来高包括(加算)(EF)△/(包括評価点数算出(加算)(EF)*10)*100 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(加算)(EF)△/日	:出来高包括(加算)(EF)△/実入院日数 (小数点以下四捨五入)
	出来高包括(F加算)△	:包括評価点数算出(加算)(F)*10-包括評価部分 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(F加算)△%	:出来高包括(F加算)△/(包括評価点数算出(加算)(F)*10)*100 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(F加算)△/日	:出来高包括(F加算)△/実入院日数 (小数点以下四捨五入)
	出来高包括(F加算)(EF)△	:包括評価点数算出(加算)(F)*10-包括評価部分(EF) (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(F加算)(EF)△%	:出来高包括(F加算)(EF)△/(包括評価点数算出(加算)(F)*10)*100 (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(F加算)(EF)△/日	:出来高包括(F加算)(EF)△/実入院日数 (小数点以下四捨五入)
	出来高包括(F)△	:包括評価点数*10-包括評価部分(EF) (小数点以下1桁まで)
	出来高包括(F)△%	:出来高包括(F)△/(包括評価点数*10)*100 (小数点以下1桁まで)

【2-3. データ加工処理詳細】

5. FF1にFF5・EN・FNの結果を付加(1~4の結果を使用)し、各種計算処理を行う

	出来高包括 (FF5) (EF) Δ / 日 出来高包括 (FF5、加算) (EF) Δ 出来高包括 (FF5、加算) (EF) Δ % 出来高包括 (FF5、加算) (EF) Δ / 日 出来高包括 (FF5、F加算) Δ 出来高包括 (FF5、F加算) Δ % 出来高包括 (FF5、F加算) Δ / 日 出来高包括 (FF5、F加算) (EF) Δ 出来高包括 (FF5、F加算) (EF) Δ % 出来高包括 (FF5、F加算) (EF) Δ / 日	: 出来高包括 (FF5) (EF) Δ / 実入院日数 : 包括評価点数 (加算) * 10 - 包括評価部分 (EF) : (出来高包括 (FF5、加算) (EF) Δ / (包括評価点数 (加算) * 10)) * 100 : 出来高包括 (FF5、加算) (EF) Δ / 実入院日数 : 包括評価点数 (加算) (F) * 10 - 包括評価部分 : (出来高包括 (FF5、F加算) Δ / (包括評価点数 (加算) (F) * 10)) * 100 : 出来高包括 (FF5、F加算) Δ / 実入院日数 : 包括評価点数 (加算) (F) * 10 - 包括評価部分 (EF) : (出来高包括 (FF5、F加算) (EF) Δ / (包括評価点数 (加算) (F) * 10)) * 100 : 出来高包括 (FF5、F加算) (EF) Δ / 実入院日数	(小数点以下四捨五入) (小数点以下1桁まで) (小数点以下四捨五入) (小数点以下1桁まで) (小数点以下四捨五入) (小数点以下1桁まで) (小数点以下四捨五入)
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日		
2) CSVで出力			
<b>4. JOIN 210: FF1コード変換1</b>			
1)	FF1のコードを日本語化、または順序付けする		
(1) 対象TBL	JOIN_010 FF1		
(2) 結合条件	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日		
(3) 計算値	コード変換 : 「コード」参照		
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日		
2) MYDBへ保存			

【2-3. データ加工処理詳細】

5. FF1にFF5・EN・FNの結果を付加(1~4の結果を使用)し、各種計算処理を行う

<b>5. JOIN 220: FF1コード変換2</b>			
1)	FF1のコードを日本語化、または順序付けする		
(1) 対象TBL	JOIN_010 FF1		
(2) 結合条件	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日		
(3) 計算値	コード変換 : 「コード」参照		
(4) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日		
2) MYDBへ保存			
<b>6. JOIN 230: コード変換後結果結合</b>			
1)	コード変換した結果をFF1に結合し、入れ替える		
(1) 対象TBL	FF1 JOIN_210 JOIN_220		
(2) 結合条件	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日		
2) MYDBへ保存			
<b>7. JOIN 240: 施設名称結合</b>			
1)	施設名称を結合し、CSV化する		
(1) 対象TBL	JOIN_230 JOIN_000, 施設名称マスタ		
(2) 結合条件	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日		
(3) 並び替え	施設コード データ識別番号 入院年月日 退院年月日		
2) CSVで出力			